

# 「おひさま発電所」点灯

## 山科 つくし保育園に設置

山科区醍醐のつくし  
保育園(約90人、山下  
茂雄園長)で23日、太  
陽光発電設備「おひさ  
ま発電所」の点灯式が  
あり、発電パネルや、  
発電状況を示す「表示  
盤」が披露された。園  
児や保護者ら約100  
人が集まり、地球温暖  
化防止に役立つ設備の  
完成を祝った。

NPO法人「きょう  
とグリーンファンド」  
(下京区、板倉豊理事  
長)が府内の保育園な  
どを対象に、01年から  
行っている事業で、今  
回が11カ所目。

同法人の「おひさま  
基金」や市民からの寄  
付、新エネルギー・  
産業技術総合開発機  
構からの補助金など

で、設置費用約75  
0万円を集め、発電

パネル64枚(最大出力  
容量4キロワット)を設置  
した。  
点灯式で園児らは、  
温暖化をテーマにした  
人形劇を鑑賞。地球環  
境に配慮した太陽光発  
電への理解を深めた。

その後、2日間かけて  
積み木で製作した  
「つくし」が、太陽  
光による光で照らし  
出されると、園児ら  
は興味深そうに見入  
っていた。

【細谷拓海】



電気が作られる様子を示す「発電表示盤」に見入る  
子供たち＝細谷拓海撮影